

第2学年国語科 学習指導案

2014年6月26日5校時

2年1組（男子9名 女子11名 計20名） 本時9/12

授業者 T1山岡 真美

T2渡邊 智穂

- 1 **単元名** 登場人物がしたことについて気をつけて大すきな登場人物を紹介しよう
教材名 「お手紙」（東京書籍2年上）

2 単元の目標

- 物語に興味を持ち、自分が大好きな場面や登場人物を「お話会」において紹介することができる。（関心・意欲・態度）
- 紹介したい本を選び、自分が好きな場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。（C 読むこと（ウ））
- 文の中における主語と述語との関係に注意して読むことができる。（言 イ（カ））

3 単元について

（1）単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

その際、「C 読むこと」の言語活動例「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を具体化した「登場人物がしたことについてお気に入りの物語の好きな登場人物をお話会で紹介し合う。」という言語活動を位置付ける。今回紹介し合う対象はクラスの友だちである。お互いが読書してきているので、共通して読んできたシリーズ読書について読みに広がりができるのではないと思われる。並行読書には、がまくんとかえるくんシリーズ全4冊から、20話を取りあげた。子どもたちは、シリーズを読み進めていくうちに関連性や登場人物の性格等について想像豊かに読み進めていくと考えられる。さらに、自分の読書体験と文章の内容とを結びつけて読むことができると考えられる。

ここで取り上げるお話会は、A・Bワンセット方式で作成していく大すきハンドブックをもとに進めていく。ハンドブックには、あらすじや登場人物について、そして登場人物の行動を中心に好きな場面を明確にし、その理由について想像を広げながら書いていく。そして、物語全体をとらえたうえで、お話会において「自分の好きな場面と好きな登場人物について、登場人物のしたことをもとに紹介し合う」というものである。

このことにより、本単元でねらう「登場人物の行動や会話に着目して読みながら、自分の好きな場面の様子について想像を広げて読む能力」の育成に確実につながる言語活動にする。

本教材は、がまくんとかえるくんを中心に物語が展開していく。がまくんとかえるくんのやりとり（会話文）が多く、読んでいく上で主語（「～は」）と述語（「～しました。」）を明確にさせ、誰の会話文なのかを理解しながら読み進めていくことも必要となってくる。好きな場面を選ぶ際、二人の登場人物の行動に着目し、それぞれの登場人物の行動を根拠として、登場人物の気持ちを豊かに想像できるようにハンドブックにまとめるという方法で取り組んでいくようにする。このハンドブックにまとめるという活動によって、好きな場面や登場人物についての理由が整理され、お話会で紹介し合うための有効な手がかりとなってくると考えられる。

（2）児童観

児童は、1年3月「花いっぱいになあれ」で、自分の好きな場面を語のまとまりや言葉の響きを楽しんで読む学習を行い、2年4月「かくれんぼ」では場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読む学習を行った。その結果、児童は「誰が何をしたか」ということを把握しながら読むことができるようになってきた。今回学習をする「ふたりはシリーズ」の物語の特性として、会話文でお話が展開されていく場面が多くあり、誰の会話文かを理解しながら読んでいく必要がある。

そのためには誰が何をしたのかに着目し、想像を広げながら読んでいくことが必要になってくる。昨年度の学力調査の結果、本校では「読むこと」の領域において、必要な情報を取り出す力および目的に応じて言葉や文を使って要約していく力に課題が見られた。そこで学年の取り組みとして、国語科の説明文「たんぼぼ」の単元では、植物のひみつカードを書くために大事な言葉や文を書き抜く活動を行い、くり返し出てくる言葉に注意して読んでいった。しかしながら中には言葉や文を取り出して自分の言葉で表現し、まとめていくことが難しい児童も見られた。

児童は授業中に発言する際に「～です。そのわけは…。」と話すことができている。その一方で、「読むこと」においては自分の読んだことを中心に焦点をしばって理由を伝えると言うところにはまだ弱さを感じる。また、性格や気持ちに関する語彙が少ないために自分の気持ちを表現することにも弱さが見られ想像を広げながら深く読み、広げることに課題がある。そこで本単元では語彙を増やすための取り組みも仕組みながら、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む力へとつなげていくために「お気に入りの物語を選んで、大好きな場面と大好きな登場人物のことを『大すきハンドブック』にまとめて紹介する」という言語活動を行う。

(3) 指導観

児童は本単元の学習準備として、昨年までの既習事項について、簡単なワークシートに取り組む。また今回、登場人物の性格を表す言葉については、7月単元「なかまになることばをあつめよう」を先行して行うことで本単元を学習するに当たっての準備段階とする。このことで児童の語彙を広げることの足がかりとし、ハンドブックを書く際児童が自ら選んで使うことができるように支援する。

第一次では、教師による本の読み聞かせを聞いたり、「お話し会」のモデルを見たりして単元のゴールイメージをもつとともに物語を楽しみ、がまくんとかえるくんシリーズの登場人物に興味を持たせる。そして自分が選んだお気に入りの物語の大好きな場面と大好きな登場人物を紹介し合うという学習のめあてを持たせて導入としたい。

第二次では、登場人物はどんな人か考え、根拠となる行動を挙げることによって、物語を大きくつかむ。登場人物のしたこと（行動）に着目しながら自分が大好きな場面をはっきりとさせ、その場面の中で大好きな登場人物もはっきりとさせる。さらに、なぜその場面が好きなのか理由を考える際には、登場人物のしたことを根拠として、それを見た（読んだ）ときの自分の思いや、その場面での登場人物はどんな気持ちだったのか想像することで、豊かな読みへと広げていきたい。

交流では、個々の学習やペア・グループ学習を効果的に用いることで意見交流をより深め、シリーズ読書の楽しさを味あわせ、読書活動に広げていきたい。特に大好きな場面の理由をあげる時は、登場人物のとした行動から気持ちを想像することや二人の関係を読むことで「大すき」のわけを深めたい。友だちと交流する時もここをはっきりと伝えることができるように支援する。

また、20話のがまくんとかえるくんシリーズを読んで交流することで、それぞれの物語に出てくるがまくんとかえるくんを関連させて共感したり、登場人物の新たな一面にも気付くことができるのではないかとと思われる。これもシリーズ読書のよさである。今回も3月の「花いっぱいになあれ」に続き、A・Bワンセット方式で取り組む。

第三次では、第二次で選んだお気に入りの物語の登場人物について、したことや会話文から20話を通してのそれぞれの登場人物のよさについて交流を深める。その時に自分の読んできた物語と関連させた交流ができるようにしたい。そして、がまくんとかえるくんの世界を楽しんだ後は、この学習で付けた力を活用させるために自主学習ノートを使った家庭学習へ広げたり、シリーズ読書へ広げたりしていきたい。

ある一定期間前から並行読書を始めたのは、A・Bワンセット方式において読書量を確保したうえで「B」の活動に広がりを持たせることができるようにするためである。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して活動したり、学んでいくことに意欲を持ち、見通しを持って言語活動を展開していく必要がある。物語を読む場合、一番大切なことは「楽しみながら読む」ことである。そのことを実感するのは読んだ後、自分にとってのおもしろさや楽しさはどんなことだったのか、登場人物を自分と比べたり、立ち止まって考えたりする時である。そこで、導入では『大すきハンドブック』を用いた「『ふたりはシリーズ』お話し会」の

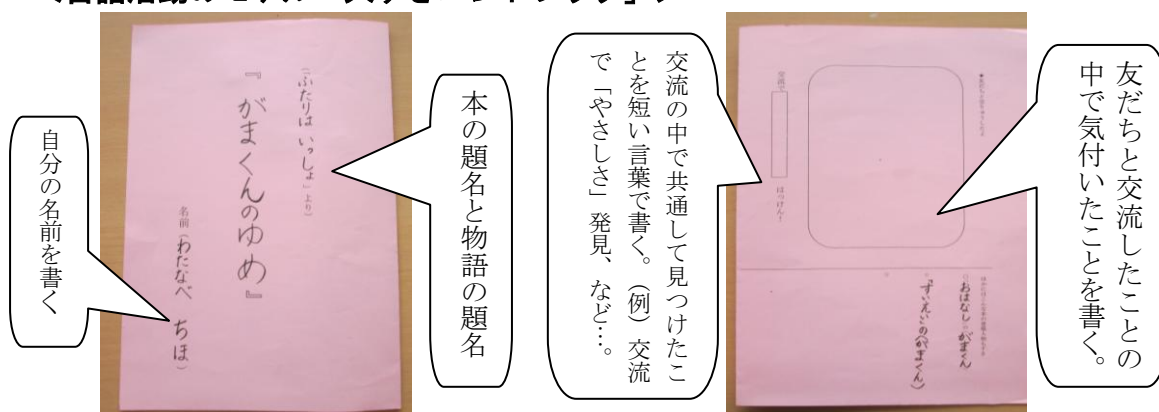
モデルを専科教員と学級担任により提示し、学級の友だちとお話会を開くことへの意欲や課題意識を高める。特に二次の中での「A」の教材文での学びを児童が「B」の並行読書した本で主体的に活用することを意識しながら取り組むことができるようにする。このことにより前時に学習したことを生かして主体的に学ぶ力を積み重ねたい。

さらに三次では児童がこれまでに付けた力を用い、登場人物のよさについてシリーズ読書と関連させながら交流し合うことで登場人物についての新たな発見ができるようにしたい。

4 単元の評価規準

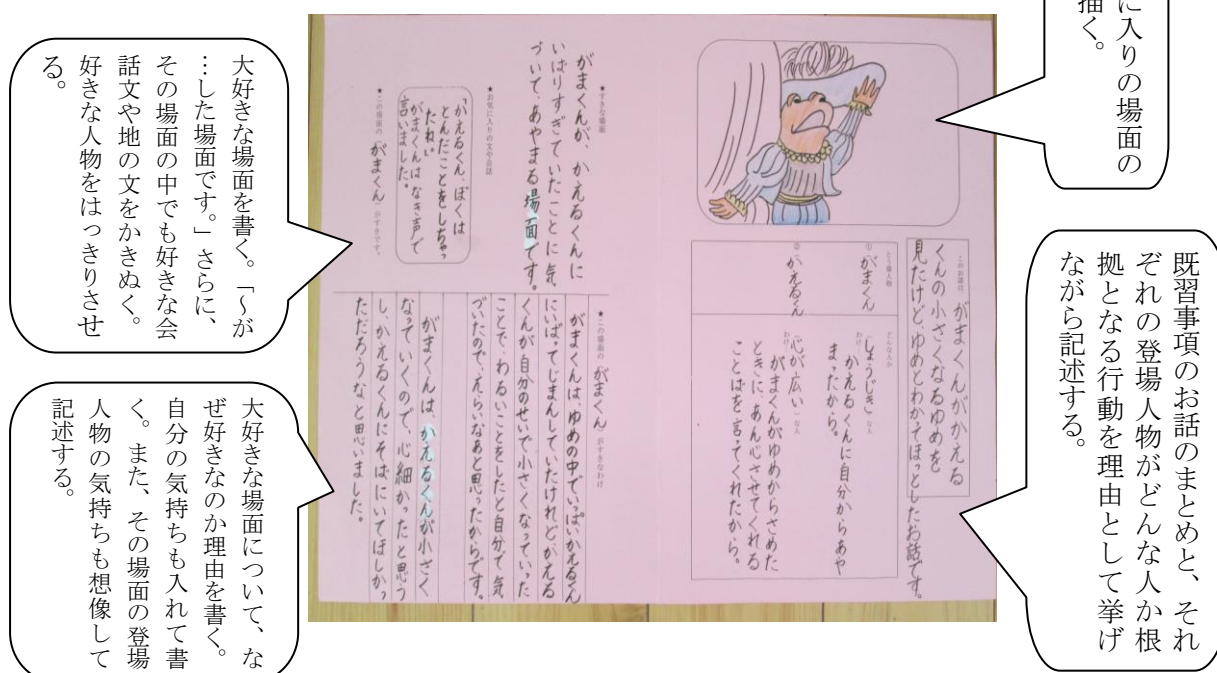
国語への 関心・意欲・態度	・シリーズ読書に興味をもち、登場人物の行動に気をつけてお気に入りの物語の大好きな場面や登場人物についてお話会で紹介しようとしている。
読む能力	・登場人物の行動や会話に着目しながら、自分の好きな場面の様子について想像を広げて読んでいる。(ウ)
言語についての 知識・理解・技能	・文の中における主語と述語との関係に注意して読んでいる。C伝(イ(カ))

<言語活動のモデル「大すきハンドブック」>

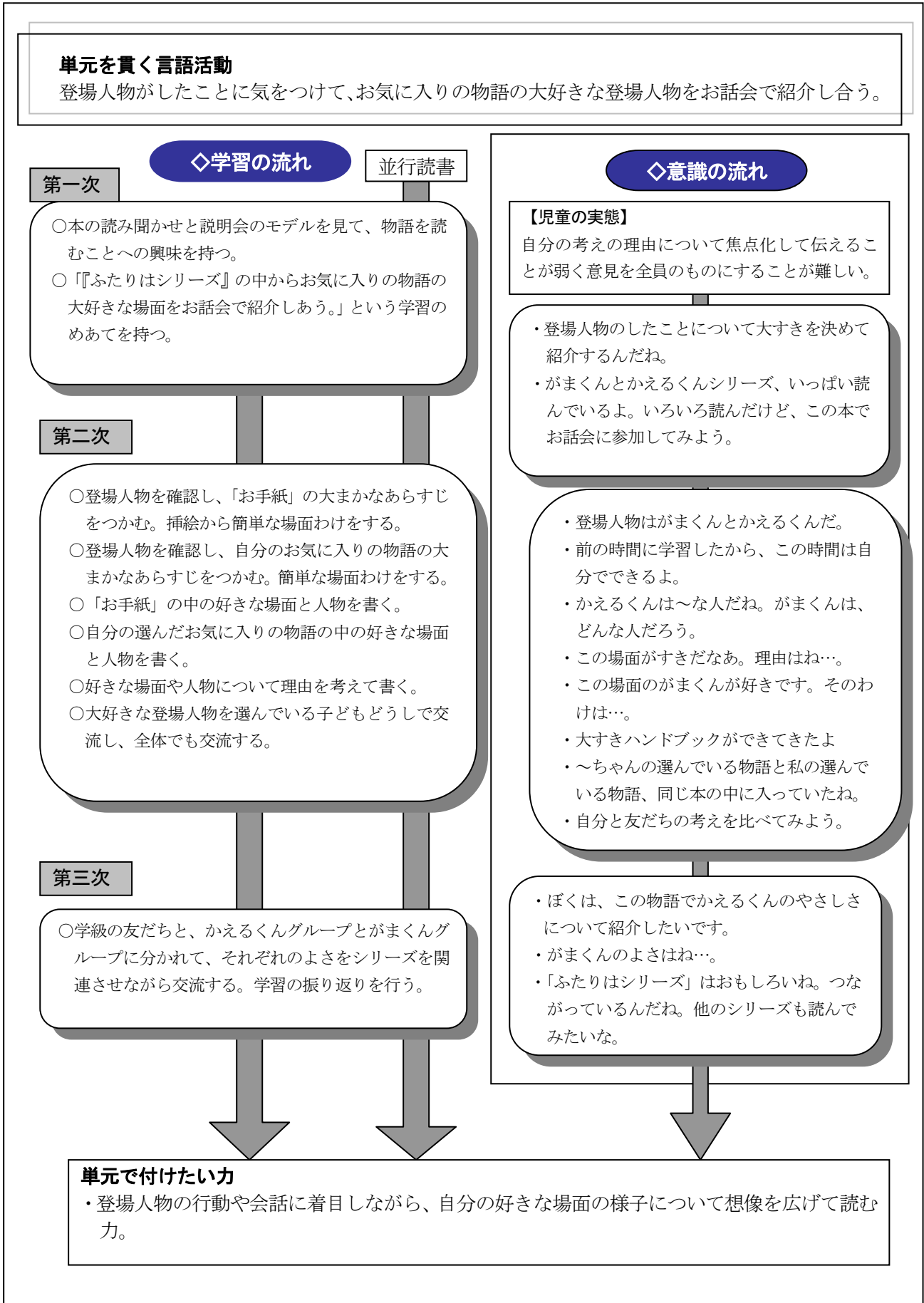


・色画用紙の色は4色。シリーズごとに色分けしているのので、そのシリーズと同じ色の画用紙を使う。

※大すきハンドブック 中を開いたところ



5 単元構想図



6 指導計画及び評価計画（全12時間）

	時	学習活動		主な評価規準	
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> これからの学習のめあてを知ろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による読み聞かせ、お話会のモデルを見る。 ・モデルを見た感想を交流し合う。 ・単元の流れを知る。 		【関】 『わたしの大きな登場人物をお話会で紹介しあう』というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 （発言・行動観察）	
第二次	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お話会に向けて「お手紙」はどんな場面からできているか考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵をたよりに、場面を大まかにとらえることであらすじをおさえる。 	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お話会に向けて、自分のお気に入りの物語はどんな場面からできているか考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・場面を大まかにとらえることであらすじをおさえる。 	【読】 登場人物がしたことや出来事に気をつけて、内容の大体を読んでいる。 （ノート、教材文、お気に入りの物語、発言） 【言】 文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。 （ノート、教材文、お気に入りの物語、発言）
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お話会で紹介するために「お手紙」に出てくる登場人物はどんな人か考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの登場人物の行動をもとに、どんな人物か考える。 	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お話会で紹介するために、お気に入りの物語に出てくる登場人物はどんな人か考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの登場人物の行動をもとに、そのことを理由に挙げながら、どんな人物か考える。 	【読】 場面の様子について、登場人物の行動を中心に読んでいる。 （大すきハンドブック、発言）
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お話会で紹介するために「お手紙」の中の好きな場面をまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面について、登場人物のしたことをもとに、好きな場面をはっきりさせてまとめる。 ・好きな会話文や地の文を書き抜く。 	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お話会で紹介するためにお気に入りの物語の中の好きな場面をまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面について、登場人物のしたことをもとに、好きな場面をはっきりさせてまとめる。 ・好きな会話文や地の文を書き抜く。 	【言】 文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。 （ノート、教材文、お気に入りの物語、発言） 【読】 場面の様子について、登場人物の行動を中心に読んでいる。 （大すきハンドブック、発言）

	8	<p>お話会で「大すき」が伝わるように、「お手紙」の好きな場面のわけをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面について、登場人物のしたことについての自分の思いを入れながら理由をまとめる。 ・好きな場面の人物の思いについて想像を広げながらまとめる。 	9 本時	<p>お話会で「大すき」が伝わるように、お気に入りの物語の好きな場面のわけをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面について、登場人物のしたことについての自分の思いを入れながら理由をまとめる。 ・好きな場面の人物の思いについて想像を広げながらまとめる。 	<p>【読】 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。 (大すきハンドブック、発言)</p>
	10	<p>お話会で「大すき」が伝わるように、「お手紙」の好きな登場人物について交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をもとに、「お手紙」の登場人物の行動を中心に大好きな場面や人物について交流する。 ・「大すき」に同じ人物を選んでいる子どもどうしで交流させる。 	11	<p>お話会で「大すき」が伝わるように、お気に入りの物語の好きな登場人物について交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をもとに、お気に入りの物語の登場人物の行動を中心に大好きな場面や人物について交流する ・「大すき」に同じ人物を選んでいる子どもどうしで交流させる。 	<p>【関】 『わたしの大好きな登場人物をお話会で紹介しあう』というめあてに向かい、大すきや場面や人物をはっきりさせ、自分が読んだことを相手に意欲的に伝えようとしている。 (発言、大すきハンドブック、行動観察)</p>
第三次	12	<p>かえるくんとがまくんのよさについて交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで読んできた「ふたりはシリーズ」と関連させながら、自分の好きな登場人物についていいところや、前時の友だちとの交流から発見したことを話し合う。 ・国語日記を書いて、これまでの学習の振り返りをする。 		<p>【関】 「ふたりはシリーズ」について、シリーズを関連させながら大すきや人物のいいところやシリーズに共通することを相手に意欲的に伝えようとしている。 (発言、行動観察)</p>	

7 学習の展開

第2次 8時間目 (9/12)

(1) 目標 自分の好きな場面の様子や人物について好きな理由を書くことを通して、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元の言語活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お話会で大すきが伝わるように、お気に入りの物語の好きな場面のわけをまとめよう。</p> </div>	<p>○単元のゴールイメージを確かめさせ、目的意識を持たせて、前時をふりかえる。</p> <p>○数人に好きな場面を少しだけ紹介させ、本時への興味を持たせる。</p>
<p>2 自分の選んでいる物語の好きな場面と人物について、理由を書く。</p> <p>(1) 個人でワークシートに書く。</p> <p>(2) ペアで好きな場面と人物のわけについて交流する。</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○前時をもとに、登場人物の行動について自分の思いや考えを書くことができるようにする。 ※前前時に書いた登場人物の行動(ハンドブックの上段)を思い出して、なぜその場面を選んだのか声をかけ、理由が書けるように支援する。</p> <p>○単に読みあげるのではなく、友だちと自分の違うところや、同じところを比べながら興味を持って聞くことができるようにする。</p> <p>○机間指導の中で、好きな理由について話しているペアをほめたり、助言して励ましたりする。</p> <p>○全体で交流する際は、場面を読んで自分がどんな気持ちになったか書けているか、その場面の登場人物の気持ちが書けているかどうかにつけて聞くことができるように声をかける。</p> <p>☆登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。 【読】(大すきハンドブック、発言)</p> <p>○本時を振り返り感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家庭学習 お話会に向けて「お手紙」の大すきハンドブックで大すきな場面と人物について紹介できるように練習をしてくる。</p> </div>	<p>○次時は、「お手紙」のお話会をすることを伝える。</p>

(3) 評価規準

(例) 「お手紙」

選んだところ…がまくんがかえるくんからお手紙が来ることを知って喜んだ場面の場合

B 概ね満足できる状況

- ◆お話会で大すきな場面や人物を紹介するために選んだ場面について、登場人物の行動をもとに大すきな理由を書いている。

がまくんは、今までお手紙がこなかったけど、かえるくんがお手紙を書いてくれたと知ってよ
こんだったので、かえるくんはやさしいなあと思ったからです。

A 十分満足できる状況

- ◆お話会で大すきな場面や人物を紹介するために選んだ場面について、登場人物の行動をもとに想像を広げながら、大すきな理由を書いている。

がまくんは今までお手紙がこなくてかなしい気もちだったけど、かえるくんがお手紙を書いてく
れたと知って、しあわせな気もちになったからかえるくんはやさしいなあと思ったからです。

(4) 板書計画

